

【小学校国語】

小学校
国語

本市の概要

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。
- 「言語事項」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「書くこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。
- 「読むこと」の平均正答率
 - ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

※ いずれの領域においても、記述式の問題における無解答が全国平均より、やや多くなっている。

今回の調査における課題

- 相手や目的に応じて考えたことや意図が分かるように話すとともに、話し手の意図や内容を考えながら聞くこと。
- 文の構成や表現を確かめ、正しく推敲するとともに、書く目的や意図を明確にして、効果的に書くこと。
- 目的や意図に応じて情報を取り出したり、登場人物の心情や場面についての描写を叙述と関連づけて読むこと。
- 文脈に沿って漢字を適切に書いたり、活用したりすること。

改善の方向

- 相手や目的に応じて自分が考えたことや伝えたいことが分かるように組立を工夫して話すことと、話し手の意図をつかみながら聞くことを併せて行う指導の充実。
- 書く目的や意図を明確にし、文の構成を正しく理解できるようにするとともに、必要な情報を取り出し、条件に即して効果的に書く指導の充実。
- 目的に応じて情報を正しく取り出したり、叙述に即して、内容を的確に押さえながら読み取ったりする指導の充実。
- 漢字の意味の違いや使い方に着目して、文脈に沿って漢字を適切に使えるようにする指導の充実。

分類	国語	平成19年度		平成20年度	
	区分	全国との比較(A)	全国との比較(B)	全国との比較(A)	全国との比較(B)
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	書くこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	読むこと	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	言語事項	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
問題形式	選択式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	短答式	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度	ほぼ同程度
	記述式		ほぼ同程度		ほぼ同程度

※ 「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲内。